

バルバル
FUCK
ぶらほ〜!!



成人向
Adult Only

助けて

メグ?

助けて
レスト君

なんだか今日は
ずっと浮かない顔して
るけど……

もしかしてデート
つまらなかったかな……?

え……

早く私を――



め……メグ!?

レスト君と一緒にいる時が
私の一番幸せな時間なの!!
つまらないなんて事、絶対ない!!

そんな事ないよっ!!

そ……



あっ……

あ……
あのねレスト君っ
私……私、実は……

やあメグちゃん
今日もいい天気だね♡

ああ、デート中済まないね
昨日の彼女の演奏があまりに
素晴らしかったのですね
是非、今夜もお願いしたくて
つい声を掛けてしまったんだよ

へーそうなんだ
昼間は聞いた事が
あったけど、夜も
演奏やってたんだね

あ、なら僕も今夜聞きに
行っても

あ……
ああ……

05

ごめんレスト君っ
また今度ね！

え……う、うん
それじゃまた……

ちよっと！外では話し
かけないでって
約束したじゃないですか！！

ハハハハ
ごめんよメグちゃん
待ちきれなくてついね

ゴソゴソ



ちゅぽ

ちゅ

ちゅぽ

ちゅぽ

中々良さそうな人
じゃないか
メグちゃんが選んだ
男だけはあるよ

ただ、少し鈍感な所が
玉に瑕という所かな？



いや、さっきは済まなかった
彼がメグちゃんの彼氏なんだね



何しろ楽しくデートを
していた自分の彼女が
その後すぐに

冴えない中年男に
弄ばれてるなんて
考えもしないだろう
からね♥

へっ
へっ
へっ



事の起こりは
十日前……

ぐわわ
びい



そして部屋まで運んだ所で
私はこの男に——犯された



その日、私はいつものように
食堂で酔い潰れたお客を
旅館まで連れて行った

ディラスが連れて行くと
行ってくれたが、もしかしたら
畑作業掃りのレスト君と旅館で
会えるかもしないと思
断ってしまった

並みの相手なら余裕で
あしらえると承っていたのに
何故かその時抵抗する事が
出来なかった



寝られる前、無理矢理
何か飲まされた様な気が
するが……よく覚えていない

その後はもう
どこにでもある話…

犯された事を秘密にする
代わりに何時でも…何処でも
男の求めを断ってはならない

さ、今日は上に乗って
メグちゃんの好きなように
動いてみなさい♥

初めの頃は大き過ぎて
中々入らず痛いだけだったが
今ではもう大した抵抗もなく
受け入れてしまっている…

このまま私のアソコが
男の形になってしまわないか…
そんな恐怖が常に私を襲う

もう何度も使っているのに
一向に緩む気配がない
この締めまり!!

はっ

はっ
はっ
はっ

メグちゃんのマンコは
まさしく名器じゃのう

びゅん

いやあああああ!
変な事言わないでえ!!

びゅん
びゅん
びゅん

この名器を使った事が
無いなんて彼氏も
可哀そうにw

びゅん
びゅん
びゅん

のう、メグちゃん
あんな冴えない
優男は辞めて僕の
愛人にならないか?

かっ
かっ

だれか

身体の相性もバッチリだし
丁度良いと思うんじやよ

まあ今更挿れても僕の
デカマラで拡がった後じゃ
他のちんぽじゃ満足出来ん
だらうがな!

ほれ、その証拠に♥



そして：それまで夜にだけ行われていた男との行為が日を重なるにつれて徐々にその要求が大胆になっていった

いらっしやいませっ♡

こんにちははメグちゃん
今日も元気だね♡

いらっしやいませ…

それは仕事中でも…



男の性欲は留まる事を知らず
私はただひたすら精液を黙って
身体に受け入れ続けるのでした



街中でも…



い…く、イク…うっ…
イ…く…うっ…

うん、わかった
楽しみにしててね



そっか、ご免ね
忙しいのに

ごっ…ゴメンね
レストく…んっ
私…ひっ!?

こ、これからホコさんに
頼まれて新しい歌をお
作らなきゃいけないか…うっ

う…んっ

ま…た誘って…ね、次は絶対
行…く…う、イクか…らあ

ぼん
ぼん
ぼん
ぼん
ぼん



メグ、今セルセレッソ丘陵で
桜が満開なんだ
良かったら一緒にいかない？

それと共に…私の中で
何かが変わってきている
のを感じました

そんなある日——
毎日来ていた男からの
呼び出しが…唐突に
なくなつた

次第にそれは私の日常にまで
影響を及ぼすようになって行き

それがおかしいと
頭では理解しているのに
止める事が出来なかった

本当ならそれは
喜ぶべき事なはずだ

そんな日を何日も過ごし…
遂に我慢出来なくなった私の
足は男のいる旅館へと向いていた

するとそんな私の思いとは
裏腹に雲一つ無い青空から
突然、雨が降ってきた

しかし、すでに私の身体は
一日とてあの男無しでは
耐えられない雌へと変えられ
てしまっていた…

まるで本当はあの男を
求めているのだと身体が
訴えているかのようにな…



いっやあああ
あああああ!!

ん…、雨…?
でも雲なんて…

あ、メグちゃんだあ
おいしい、久しぶり♡

……っ!?!
なんで…なんでか
なんで…なんでか
なんで…なんでか
なんで…なんでか
なんで…なんでか





ねーねー
知ってる？

ココにねー、おまんこって
言うんだけど、ちんちんから出る
お汁を入れると赤ちゃんが
出来るんだってー♪

うそだよ...
こんな...こんな...

それにちんちん出し
入れるとすっごく
気持ちいいんだよー
不思議だねえ♪♡



めまの

びびび



気持ちよくなって
家族も増える！



ちんちん
遊び

さーごーなの♡

これはこれは
あなたの方から
来て頂けるとは！

かたかた

や……
こんなのうそだよ……

あなたの事を疎かにして
しまい申し訳ない！
新しい玩具が手に入ったので
色々遊んでいたんですよ

えっ!!
何……

あの子の事ですが勘違い
しないで下さいね？

彼女の方から
誘って来たんですよ

うそ……入れられ
ただでイッた
……？

街中で元気な声で
「あたしのお花、買って
欲しいのよ」ってねw

最初は痛がっていた彼女ですが
一回体内射精してあげたら
すっかりセックスに夢中に
なっていましたよ

ですが……この事をあの
保護者気取りの迷探偵や
愛しの王子様が知ったら
大層悲しまれるでしょうね

あ、勿論、話したり
なんかしませんよ？
あなたの物分かりが
良ければ……ね

ぎゅーん

ははは
ぷるん

おは
くん

もう男の言葉に従うしか…
いや…本当は心のどこかで
逃げ道を無くして逃げられ
ない様に欲しいと思っ
いたのかも…

そうすれば、もう
レスト君を言い訳に
しないでいいから…

はい…
分かりました…

そう…ただ挿入されただけで
達してしまった自分の身体が
それが真実であるという事を
悠然と物語っているのだから



何度射精させても
次々と新しいちんこが
やってきます

それから先はただ…
自慰を覚えたての猿のように
ひたすら快楽を求めました



精液塗れになっても
お腹が精液で破裂しそうに
なっても私達は夢中で
それらを受け入れ続けました

そんな私達の騒ぎを嗅ぎつけた
他の泊まり客も入り乱れて
まるでお祭りのように皆
一心不乱に私達に精液を
吐き出しに来たのです

ああ、凄いいいっ♡
ちんぽが一本増えただけで
こんなに気持ちいいなんて
知らなかったのぉ♡

もつと…もつと
いっばい突いてえ♡

言われなくても
孕むまで犯し抜いて
やるぜ!!

食堂のアイドル
マーガレットちゃんか
こんなにHな子だった
なんてガツカリだよ!

ふふ…こんなに早く
二穴を覚えるとは
メグちゃんは本当に
犯しがいいわい♡

これは是非でも
儂のモノにしたく
なったのう♡

メグ!この先ずつと
儂のチンコ奴隷に
なると誓え!!

早く誓わんと
抜いてしまうぞ!!



なりませんー！

一生おじ様のチンコ奴隷になりますー！

もうおじ様のチンコ無しじゃ生きていけませんっ！

だから止めないで下さいー！

よく言った！
そら、イってこいっ！！

イェッ
クッ
クッ

イェッ
クッ
クッ

カッ
カッ
カッ

コッポッ

カッ
カッ
カッ

それじゃあメグ
行ってきます♥

結局、あれから
私はレストくんと
結婚しました

うん

行ってらっしゃい
あなた♥

…やっと
行ったか

だって私がレスト君を
大好きだつて気持ち
変わるなんて事…
あるわけないよ!

ええ

お待たせ
しました♥

でも今は…レスト君以上に
セックスが大好きです♥

さあ
おじさま♥

今日も腹ポテ変態エルフを
いっばい可愛がって下さい
ね♪

